

①

団体交渉権の問題ニ関しては其ノ交渉内容ノ範囲及労働組合組織ノ方法等ニ関して尚一層慎重ナル調査研究ヲ要スルモノト認レルヲ以テ此後適當ナル方法ヲ以テ後業員側ノ意思ヲモテ参酌シテ最モ公平且ノ協定ヲ之ニ適應スル方法ヲ妥当ニ出セムトス

二 請負制度改善ノ件ニ調査考究ノ上可成速ニ実行ス

三 工場内衛生施設備ノ改善ノ件ハ右ノ如ク遂テ充實ス

四 無届欠勤解雇猶豫日数ノ件ハ五日間トス

五 工場ノ都合上解雇スル場合ニ於ケル午当ハ九ノ通り定ム

一ヶ年未満 日給三十日間

一ヶ年以上ノモノハ一ヶ月ヲ増ス毎一ヶ月ヲ加算シ二百日

ノカヲ限度トス

臨時職工ニ此ノ限トニアラス

但シ向方六ヶ月間ハ親生職工ヲ減員スルノ意思ヲ持テテ事ヲ行ハズ

六 日給二円以下ノ職工ニ対スル増給ノ件ハ妻子其他扶養ノ

義務ヲ負フ者ノ生計困難ト認めル者ニ限り二割以内

ノ範囲ニ於テ二円ヲ限度トシ相与補給ノ方法ヲ教ハル

七 定期昇給ノ件ハ毎年一回九月ニ於テ昇給ノ上日給給マシム

但シ特別ノモノハ臨時昇給昇給ヲ行フコトアル

八 残業ノ歩増ノ件ハ日々復ス

九 職工往復乗船ノ件ハ未得ル限リ改善ノ方法ヲ執ルコト

トス

十 今回ノ件ニ付犠牲者ヲおサハルコトヲ承認ス

但シ其ノ行動志ヲ執テ逸スル者ハ此限リニアラス

右太田十一年六月二日附申出相承ル件ニ関シ回答ス